

ウイルスが原因 牛白血病

2011年1月13日

近年、発生が増加し、感染してもほとんどの牛は無症状で、治療方法が無い恐ろしい病気、牛白血病についてお話ししたいと思います。



白血病とは？

牛白血病は、リンパ系の細胞を腫瘍化させる病気です。

本病は地方病型と散発型に大別されますが、その殆どは地方病型の白血病であり、牛白血病ウイルス（BLV）が原因で起こります。

病 型	原 因	発症年齢	主な臨床症状
地方病型	成牛型 牛白血病ウイルス	2歳以上	体表リンパ節の腫大
			骨盤腔に腫瘤
散発型	子牛型 不明	1歳以下	リンパ節が左右対称性に腫大
	胸腺型 不明	4～24ヶ月齢	頸部の腫脹
	皮膚型 不明	1～5歳齢	全身の皮膚に蕁麻疹の皮膚腫瘤



成牛型牛白血病の感染原因

感染様式	感染する率	詳 細
子宮内感染	4～8%	感染牛の胎盤、産道で子牛が感染
乳汁感染	6～16%	感染牛の乳汁を新生子牛が摂取することで感染
人為的感染	高 率	注射針、直腸検査用手袋、ミルカーを介して感染
		出欠を伴う除角・去勢・耳標装着によって感染
吸血昆虫媒介	状況による	アブ・サシバエなどによる機械的感染

成牛型牛白血病の症状



感染牛の60～70%は無症状ですが、周囲の牛への感染源となります。また、感染牛の約30%はリンパ球数の増加が認められますが、臨床的には異常を呈しません。

感染牛の一部(0.2～0.5%)は1～8年後に発症し、消瘦、元気消失、食欲不振、眼球突出(写真1)、乳量減少等となる他、体表リンパ節の腫大(写真2)が起こります。また発症牛は数週間から数ヶ月で致死的経過をとります。



成牛型牛白血病の感染防止対策

1. 血液が付着する可能性のある注射器(針)、直腸検査用ビニール手袋は1頭毎に交換する。
2. 除角・去勢器具、耳標装着器、鼻環装着器は、1頭毎に消毒して使用する。
3. 吸血昆虫(アブ・サシバエなど)による媒介を防止するため、忌避剤を含んだイヤータックを装着したり、薬浴を行う。
4. 定期的な牛舎の洗浄・消毒を行う。(特に分娩房は念入りに)
5. 初乳は抗体陰性牛のものを与える。または、加温(56℃30分)・凍結融解したものを与える。
6. 全頭検査で感染牛を把握し、抗体陽性牛は隔離あるいは淘汰する(抗体検査は6ヶ月齢以上が対象)。

その他動物の白血病について



ヒト、ネズミ、鶏等でも白血病が知られていますが、各動物の白血病ウイルスは、特異性が強いため、白血病ウイルスがヒトに感染することはありません。